

# 授業科目 精神保健福祉論

【担当教員名】 近藤 あゆみ		対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
		開講時期	前期・後期	必修選択	選択
		単位数	6	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	○
【概要・一般目標：G10】 精神障害者の支援に関する法律、制度、福祉サービスについて理解を深めるとともに、社会資源の調整・開発に係る社会調査の概要と活用に関する知識を身につける。また、精神障害者の生活支援の意義と特徴を把握し、生活支援を行う際に重要となる、居住および就労支援に関する制度や相談援助活動について理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて説明できる。 2. 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスについて説明できる。 3. 精神障害者の支援において係る施設、団体、関連機関等について説明できる。 4. 更生保護制度と医療観察法について説明できる。 5. 社会資源の調整・開発に係る社会調査の概要と活用について説明できる。 6. 精神障害者の生活支援の意義と特徴について説明できる。 7. 精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について説明できる。 8. 職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について説明できる。 9. 行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉に関する制度とサービス			1	講義
2-4	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化			1	講義
5-7	精神保健福祉法の概要			1	講義
8-9	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス			2	講義
10-12	精神障害者に関連する社会保障制度の概要			2	講義
13-14	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者			3	講義
51-16	更生保護精度の概要と精神保健福祉との関係			4	講義
17-20	医療観察法の概要と実際			3	講義
21-23	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査			5	講義
24-26	精神障害者の概念			6	講義
27-29	精神障害者の生活の実際			6	講義
30-31	精神障害者の生活と人権			6	講義
32-35	精神障害者の地域生活支援システム			6	講義
36-39	精神障害者の居住支援			7	講義
40-43	精神障害者の雇用・就労支援			8	講義
44-45	行政機関における相談援助			9	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		精神保健福祉に関する制度とサービス	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2013・2,700円
		精神障害者の生活支援システム	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2012・2,700円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート課題、小テスト、期末試験の成績により行う。		【履修上の留意点】 原則として「精神保健学」「精神医学」を履修済みの者に限定する。			